

常山議員の一般質問から

① 定住促進に向けた取組み

「皆野町ひとまちしごと創生総合戦略」が作定され、町の人口減少が続く中、平成22年の総人口を八千人程度と設定しました。しかし、このまま何の努力もしなければ、八千人どころが大変な人口減少が起きてしまいます。

(質 問) 町に移住し、定住する人を増やすために、どのような対策を考えていますか。

(答 弁) 平成28年12月「みな魅力発掘創造会議」を立ちあげ「総合戦略」の実現の方策を中心に、観光資源の発掘活動や若者が定住する魅力ある地域づくりを検討していきます。その一つに浅草との交流を始めました。

(質 問) 全国の自治体で空き家を活用して移住者を呼び込む取り組みを行なっています。このような取り組みを推進していく考えは。

(答 弁) 昨年6月～8月にかけ、第一次空き家調査を行ない、328軒の空き家が存在。また、業務委託による第二次調査を行ないました。その後、空き家活用意向調査を行ない、151人が回答。

売りたい、貸したい人は22%でした。空き家の活用は所有者の意向が最優先です。

今後は活用意向調査の結果を充分らまえて検討していきたい。

(質 問) 東京 奥多摩町(人口5500人)は、移住担当の職員を2名配置して取り組んでいます。当町でも専門にこの事業を行なう担当者配置する考えはありますか。

(答 弁) 理想的ですが、極めて難しい状況です。

(質 問) 「地域おこし協力隊」という国の制度があります。今年度から小鹿野町には5名の協力隊員が来て町の仕事をしています。協力隊の活用を行なう考えは。

(答 弁) 協力隊の募集はむずかしいことではないので考えてみたいと思います。

② 山林の整備について

(質 問) 地球温暖化による気候変動でさまざまな地域で災害が起こっています。町でも以前から小規模

災害がくり返されています。それは大きな災害になる危険性があります。災害防止、安心して生活ができる山林の整備についてどのように進めていくか考えをお聞きます。

(答 弁) 森林組合では、切って・使って・植えて育てる林業の本来のサイクルをめざして埼玉県の補助事業において、山の環境づくりと林業の再生をはかっています。町としても森林組合と連携して取り組んでいきたいと思っています。尚、本町の平成25年から28年度の森林計画の実施は、間伐が約67ha、竹などの伐採(里山事業)約21haになっています。今後県、森林組合と連携し、関連施策をこつこつしていきます。

(質 問) この前の大雪の時は、道路わきの木が倒れ、生活道をふさぎました。また日当たりを悪くし、冬場は路面の凍結で危険な状態になります。当面、道路わきの木の整備をすすめていただきたい。

(答 弁) 山林所有者の理解がないと出来ないことですが、懸念のある地域については今後間伐を進めていきます。

(質 問) 山林整備費用については、県や国の補助事業を活用するのでしょうか。

(答 弁) 補助事業を活用しながら、間伐など所有者の理解を得られる所から積極的に進めていきます。

知子のひより

常山 知子

先日、おもしろい4コマまんがを読みました。アベ首相があるそば屋に入り、そばを注文すると店員から「かけですか? もりですか?」と聞かれ、あわててそば屋を出ていきました。国会が閉会しました。「もり」も「かけ」もはっきりしないまま国会から逃げてしまうのでしょうか。そのアベ首相、5月3日に改憲発言です。

「オリンピックが開かれる年に新しい憲法が施行される年にしたい」自衛隊の存在を9条に書き込むと表明。9条の3項に自衛隊の存在を書きこんだらどうなるか? 1項の「戦争放棄」や2項の「戦力不保持」と矛盾し、今までの「歯止め」をなくし、自衛隊の海外での武力行使を無制限にすることにつながるのです。大体、憲法を守らなければならぬ大臣が、改憲表明なんて憲法違反ですよ。

「みな民報」が今回で1800号となりました。先輩方から引き継いで、毎月2回発行しています。これからみなさんに読んでもらえ「民報」をめざして書いていきたいと思っています。



憲法9条 まもろう

日本共産党

生活・法律相談 お気軽にご相談ください
町議会議員 常山 知子
電話・FAX 62-6733